



INSTRUCTION MANUAL FOR THE STRINGING MACHINE ML100 AND THE ML90.

組み立て：

FIG. 1 ベースはイラストと同じようにテーブルスの把持に置いてください。

FIG. 2 テンションヘッドを設置してください。必ずイラストと同じようにしてください。テンションヘッドとベースを逆さますると小さいネジと部品はベースに落ちる恐れがあります。ベースの中に部品が落ちたら取り出すためベースを分解する必要がありますので絶対逆さましないようにご注意ください。

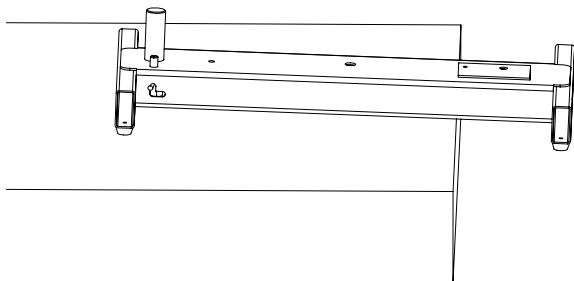


FIG. 1

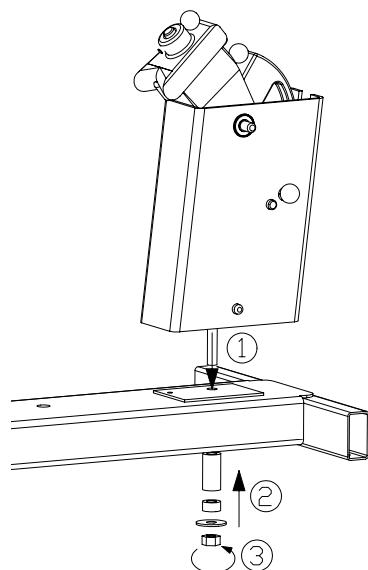


FIG. 2

FIG. 3 テンションロードを取り出すと設置方法と手順。イラストと同じように1~5の順番になります。

大体利き手で分銅を操作します。分銅は右か左手のどちらでも使えるようになっています。テンションヘッドロックブットンは逆サイドに設置出来るようになってあります。

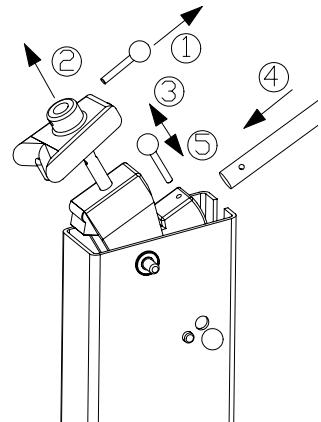


FIG.3

FIG 4 テーブルをシャフトに挿入してください。Delrin Bushとベーリングにグリースがあるかどうかご確認ください。グリースがない場合はベーリングに少しグリースを入れてください。12箇所ストッパー付き 360°回転式テーブル搭載しております。リーバーは上に持ち上げるとテーブル回転ロックになります。

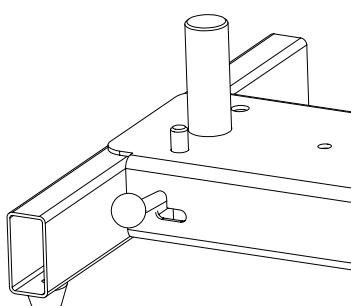


FIG.4

A5. FIG. 5 12箇所ストッパー付き360°回転式テーブルロッククリーバーは反対側に設置出来ます。
FIG.5イラストはテーブルの分解手順になります。

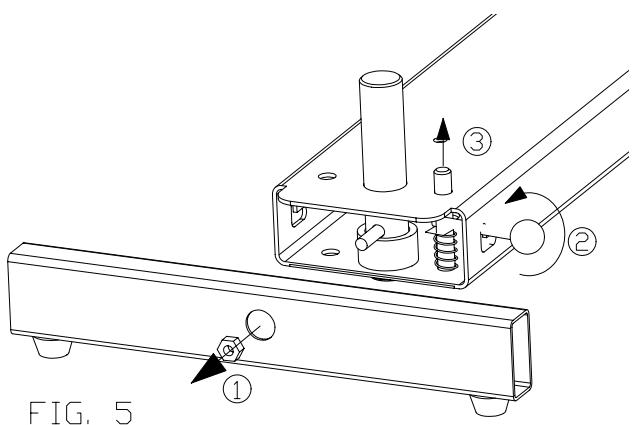


FIG. 5

機械の操作

テンションの調整

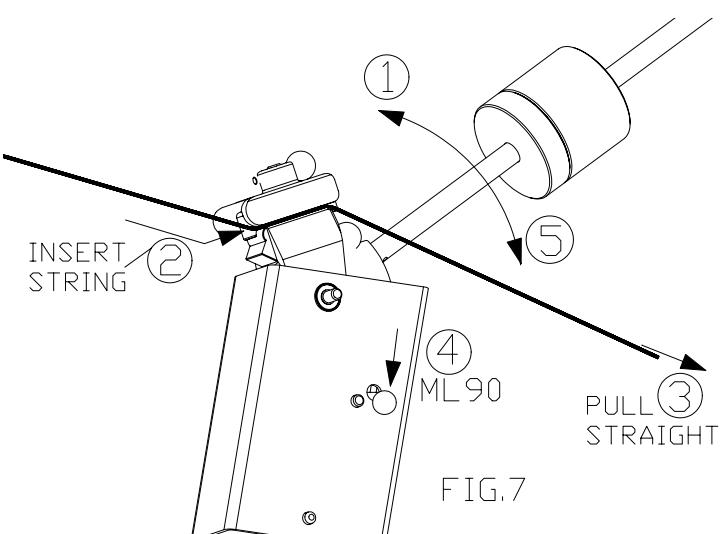
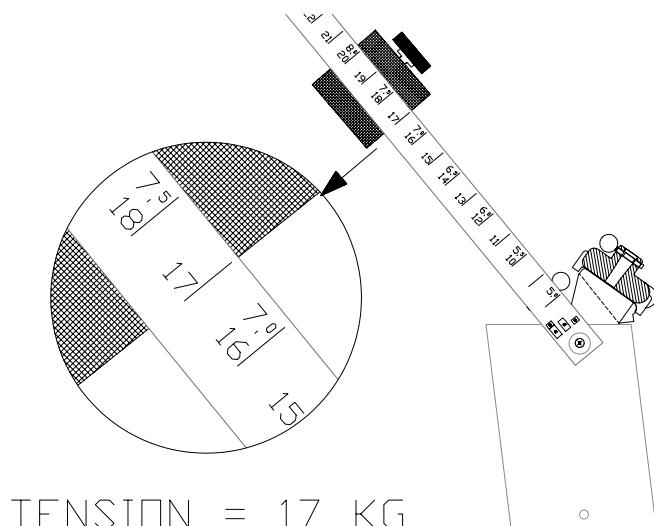
テンション10~68ポンドを簡単に調整出来ます。

小さい錘：10~22ポンド

大きい錘+小さい錘：22~68ポンド

大きい錘+小さい錘+もっと小さい錘(別売り)：68~81ポンド

正テンションは分銅の下のところを定規のメモリに合わせます。



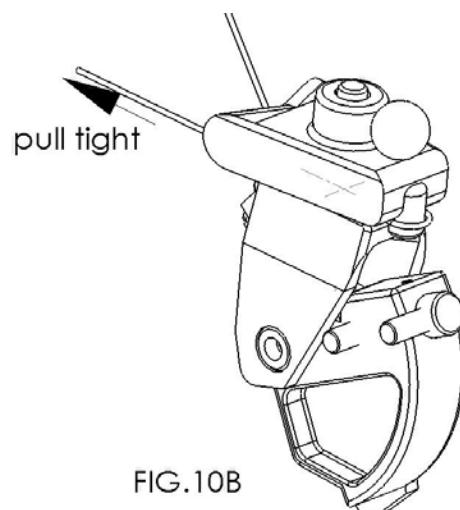
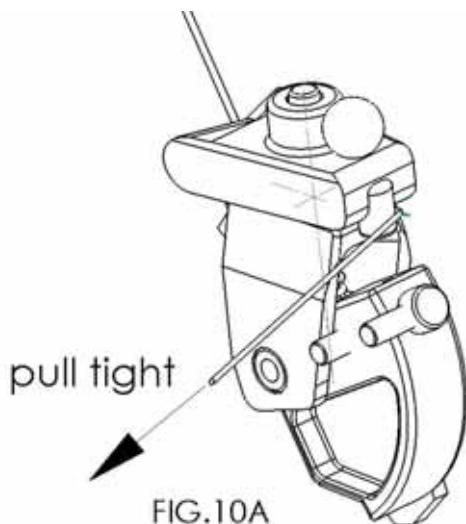
ガットをテンションします。
ML100とML90は自動テンションヘッドロックを搭載しております。ガットが入っていない状態にテンションロッドがスタートイングポジションにします。ML90の場合はガットをテンションヘッドに入れてからテンションヘッドロックを手で解除します。ML100はガットをテンションヘッドに入れたらテンションヘッドロックが自動的に解除します。

FIG7. ストリンググリッパーにガット

を挿入し方：

- 1 . レバーを持ち上げるとストリンググリッパーが開きます。
- 2 . ストリンググリッパーにガットを挟みます。
- 3 . ストリンググリッパーの反対側から真っ直ぐガットを引っ張ります。
- 4 . 手でテンションヘッドロックを解除します。 (ML90の場合)
- 5 . 分銅を倒します。

必ずFIG. 10Aと同じようにガットがしっかりとストリンググリッパーに入れます。FIG.10Bと同じようにガットを往復させるようにストリンググリッパーに入れると一番ガットが滑りませんので安心。



ご注意：

テンションロッドの下をサポートしながら倒しください。テンションロッドが自然に止まつたところが正しいテンションになります。テンションロッドを下に引っ張ったり上から押さないでください！テンションロッドが止まつたら角度に係わらず正しいテンションになります。

FIG.11 : テニスラケットのマウントの仕方。
イラストと同じように1番~9番の手順を行ってください。

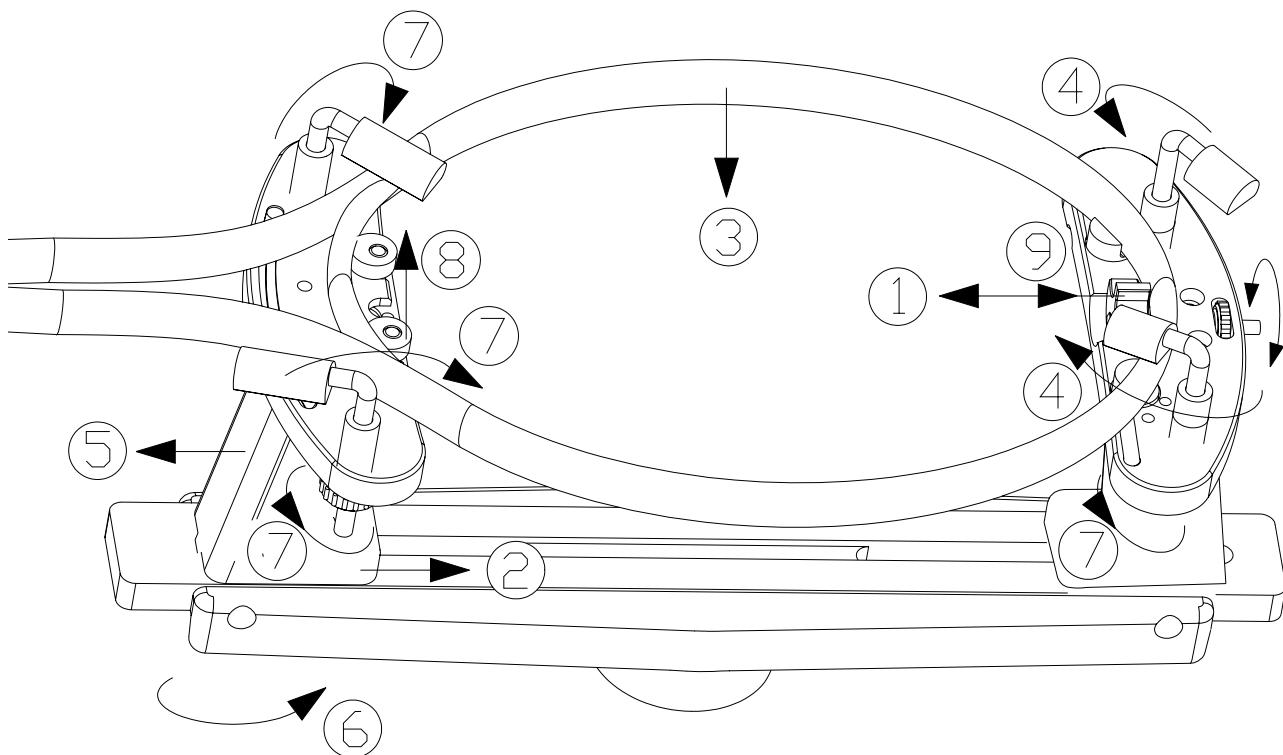


FIG. 11

FIG.12 : バボララケット型ラケットストロートパワーディスパーサーは大体Babolatラケットの独特的の形に適応していますが他のラケットにもご使用になれます。

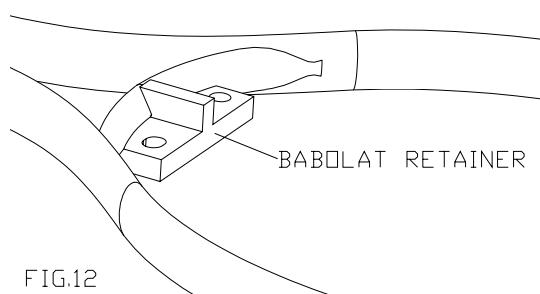


FIG.12

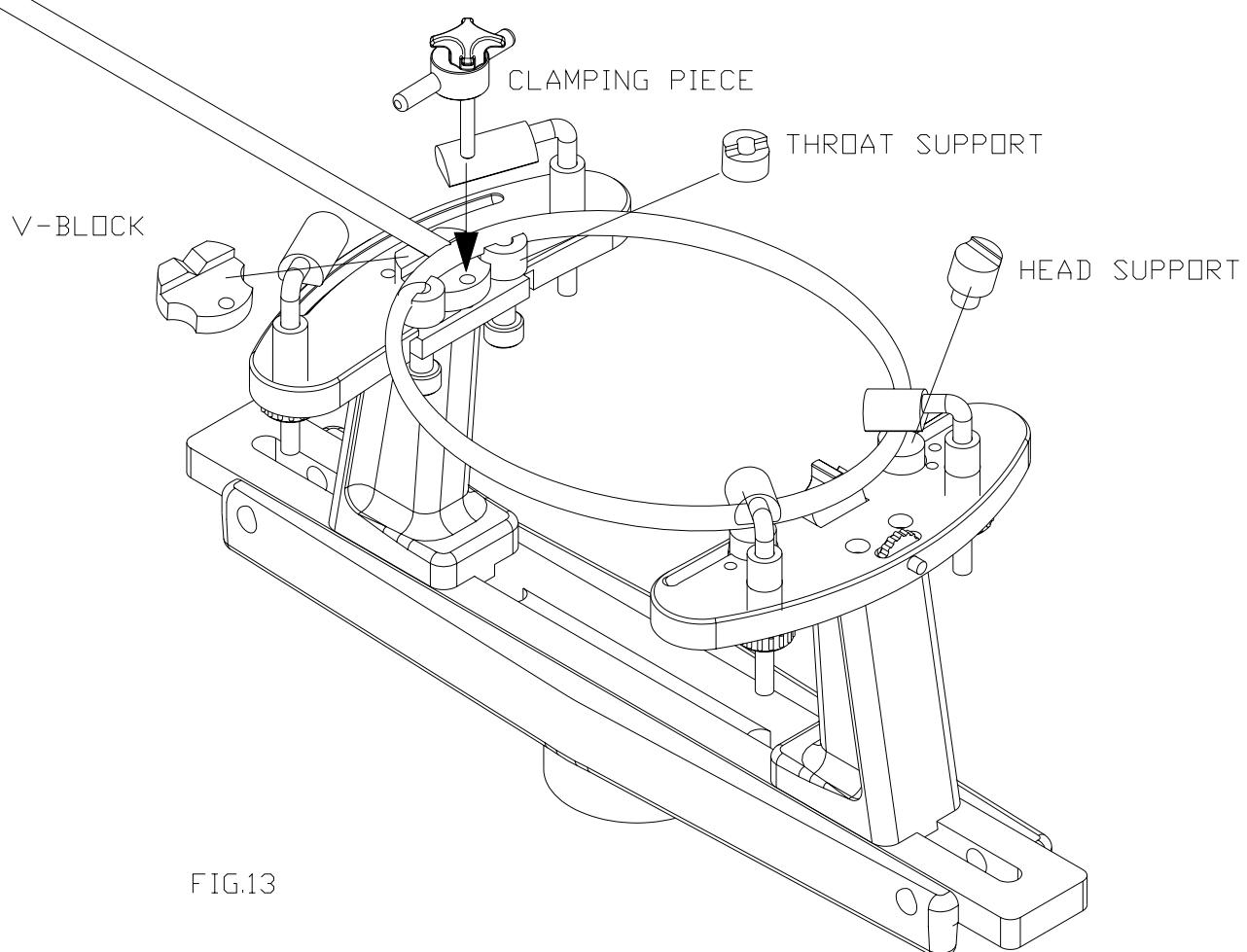


FIG.13: バドミントンラケットマウントの仕方。イラストのようにマウントをして下さい。
スカッシュラケットの形によりますがバドミントンとテニスマウントのどちも使えます。

クランプシステム。「M」ガット張り機はフライング、シングルアクション、ダブルアクションの3種類クランプシステムを搭載出来ます。

フライングクランプの仕方。

FIG. 14 : ノブを回すとクランプの幅を調整出来ます。レバーを下ろすとガットを挟みます。

FIG. 15 : フライングクランプ使用して縦ガットの張り方。

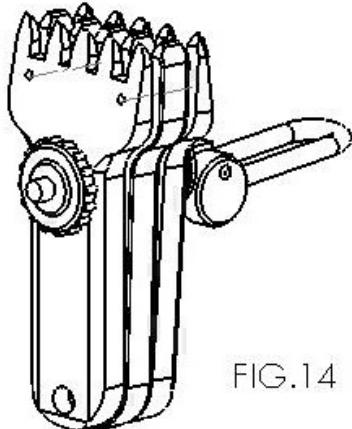


FIG.14

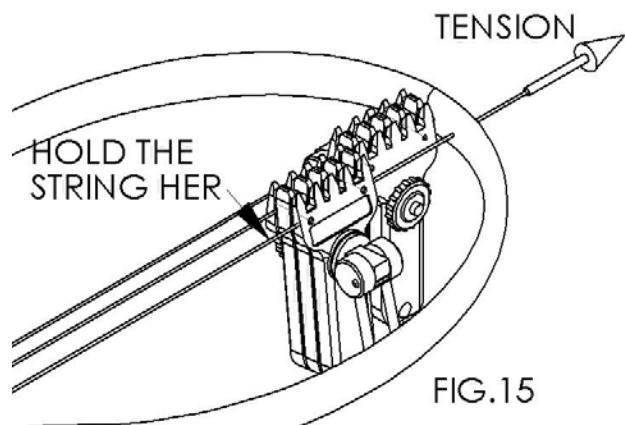


FIG.15

ダブルアクションクランプの使い方。

FIG.16 : T98ダブルアクションクランプ使用の際はガットをクランプしてからクランプのベースをテーブルに固定してください。

FIG1.7 : クランプベースの下のネジを回すとクランプの固定力を調整出来ます。注意！必ずクランプのハンドルは垂直（縦）の状態にしてからクランプの固定ネジを回して調整してください。使用中に必ずハンドルを縦にしないと安定しません。ガットの太さにあわせてクランプ幅にウィールを回します。

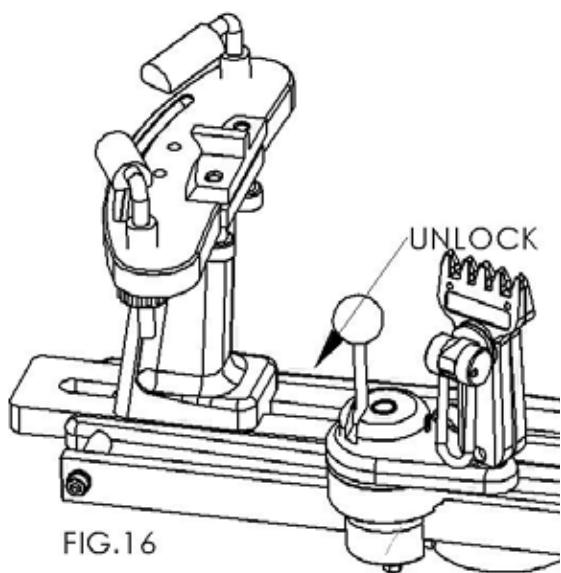


FIG.16

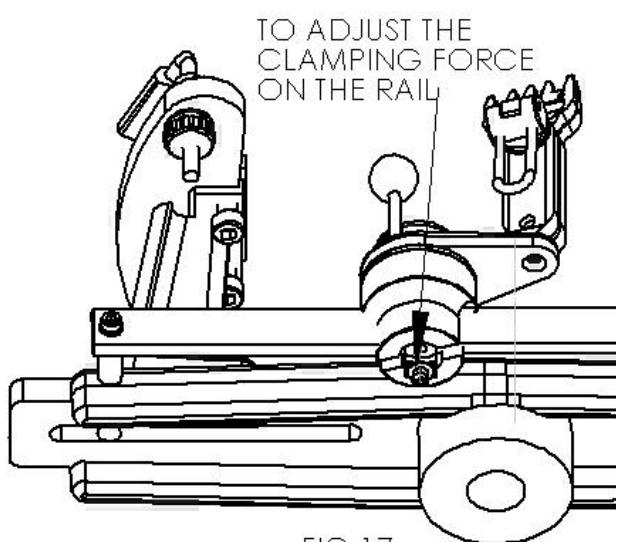


FIG.17

T92シングルアクションクランプの使い方。

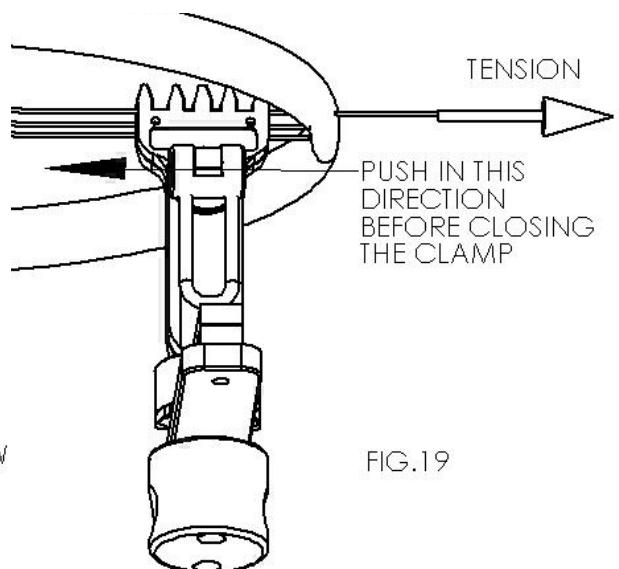
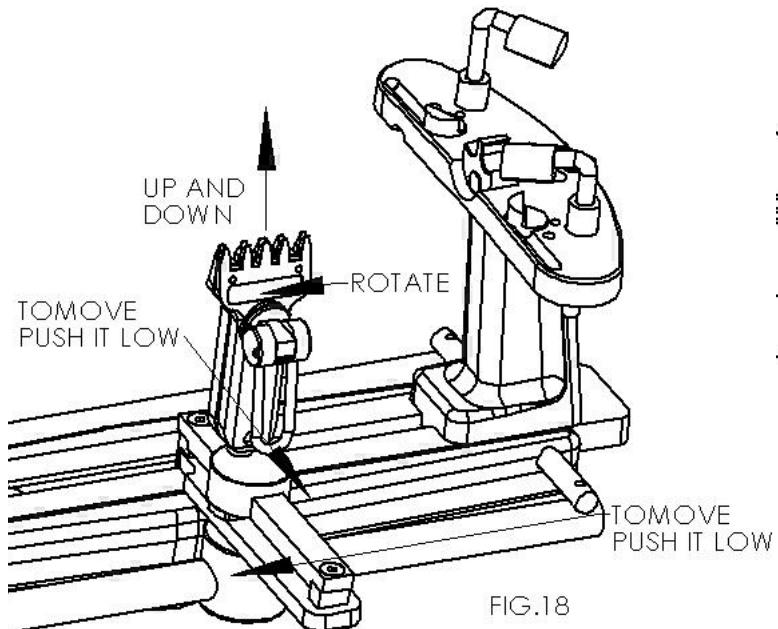
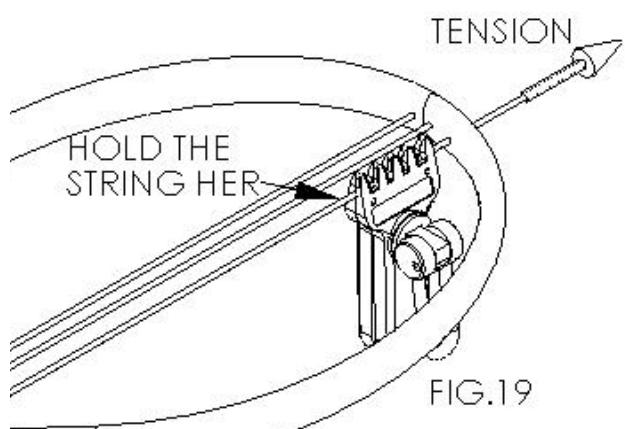


FIG. 18 : T92シングルアクションクランプの動き方。

T92シングルアクションクランプの下の台のほうを押すと楽に動きます。クランプの真ん中辺りを押すと動きが悪くなり、クランプの高い位置を押すと自動的にロックしベースに固定されます。

FIG. 19 : テンションロスとクランプの戻りを少なくするために、ガットをクランプする前にテンションをしたガットの戻り方向(引っ張っているほうと逆方向)にクランプを押してからガットを挟んでください。

FIG.19.: クランプに挟んだガットが滑らないよう、必ず毎回張り替えする度にクランプの幅が適切になっているかどうかご確認ください。



テンションヘッドの掃除 (FIG. 20) :

1 . Leverレバーを持ちながら 2 . のピンを抜いてください。揮発油 (White Spirite) でストリンググリッパーを掃除してください。

ガットが滑るには二つの理由があります。

1) クランプが未調整

2) ガットのシリコンコーティングがクランプに付いている



クランプの掃除 (FIG. 20)

薄い板に布を包んで揮発油 (White Spirite) で濡らしてください。

クランプの歯の間の板と布を動かしてください。次にクランプの歯を閉じて板と布を動かしてください。

T92ガイドバーを楽に動かすには

テーブルの平行のバーを綺麗にしてください。(絶対グリースを使わないでください！)

クロスガイドバーに少しづセリンを塗ります。

クランプが載っているピンにグリースを塗ってください。

T98のガイドバーとクランプ

ガイドバーにグリースが溜まると滑ります。

定期的に揮発油 (White Spirite) で掃除をしましょう。

ストリングウェイクランプのオーバーホール

クランプ修理が必要になりましたらストリングウェイクランプを簡単にオーバーホール出来ます。Figure 1

クランプの部品のイラストです。

分解：FIGURE 2

万力(まんりき)などの固定できるグッズでクランプを固定してから六角形ネジを外してください。

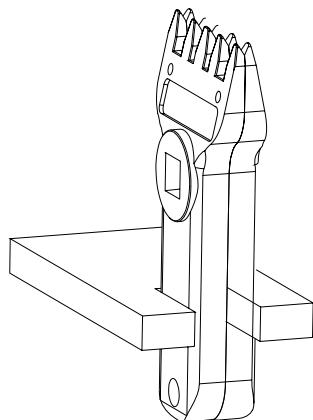


FIGURE 2

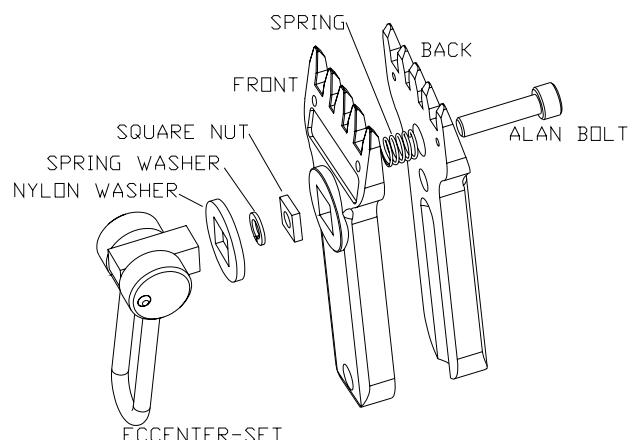


FIGURE 1

クランプをグラインドします。

FIGURE 3

布が動かないように固定して分解したクランプの歯部分を上下に布を動かしてください。

クランプの組み立て：FIGURE 1 と同じように組み立てください。

FIGURE 4 Pull Rodプールロッドを乗せて回します。

FIGURE 5 Pull Rodプールロッドの位置が間違っています。やり直しが必要です。

クランプの上下動きを楽にするため、スライディングシステムのピンが入るクランプの挿入する穴にグリースを注入してください。

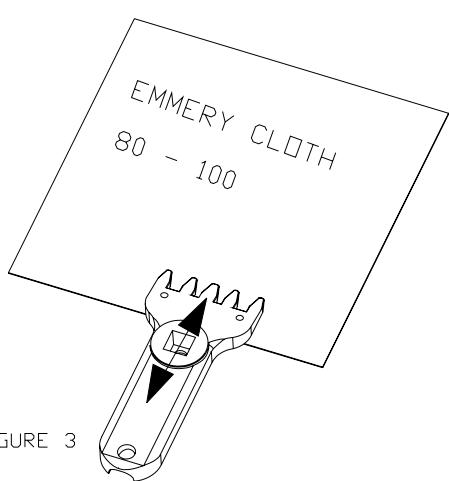


FIGURE 3

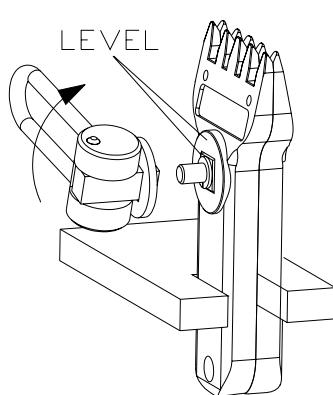


FIGURE 4

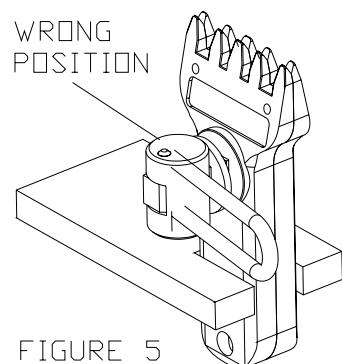


FIGURE 5

追伸(説明書英語版に書いてありません) :

コンコードのウィールがT98クランプの下のネジを当たる場合:

ベースのコンコードウィール(滑車)の高さは簡単に調整出来ます。

ベースの下のコンコードウィール(滑車)スクリューを外し、高さ調整をしてください。

ウィールとブラケットを上に持ち上げて90度時計回りに回してください。

四角い穴から取り出してください。

ウィールの高さを下げるためには、もう一つネジの入っているスクリューブラケットの方向に回せば

ウィールの高さが低くなります。

コンコードウィールの適切高さはT98クランプの下の止めるネジまで4mm相当です。

ベースからコンコードウィールの上まで訳20mmです。

ML90・ML100を存分に楽しんでください!